

熊本県における農業用ハウス強靱化緊急対策事業取組内容

【経緯】

熊本県では、これまで台風や雪害により大きな被害を受けてきたため、気象災害に強いハウス施設の導入に取り組んできた。

現在、低コスト耐候性ハウスや強度の高いパイプハウスの整備を進めている。

しかし、近年、気象変動や災害多発により、従来被害のみられなかった時期や地域でも被害が発生している。

そこで、一層の災害被害軽減を図るため、今後、長期にわたって使用されると見込まれるパイプハウスに適切な補強等を行い、耐候性の維持や施設利用の長寿命化を図る必要があった。

【熊本県における農業用ハウスの状況】(H28年)

- ・農業用ハウス 4,282ha
- ・うち要対策面積 697ha

○具体的な取組内容 (台風対策)

- ・水平ばり追加等による補強
- ・アーチパイプ追加等による補強
- ・防風ネットの設置
- ・換気扇の設置
- ・基礎の補強

(大雪対策)

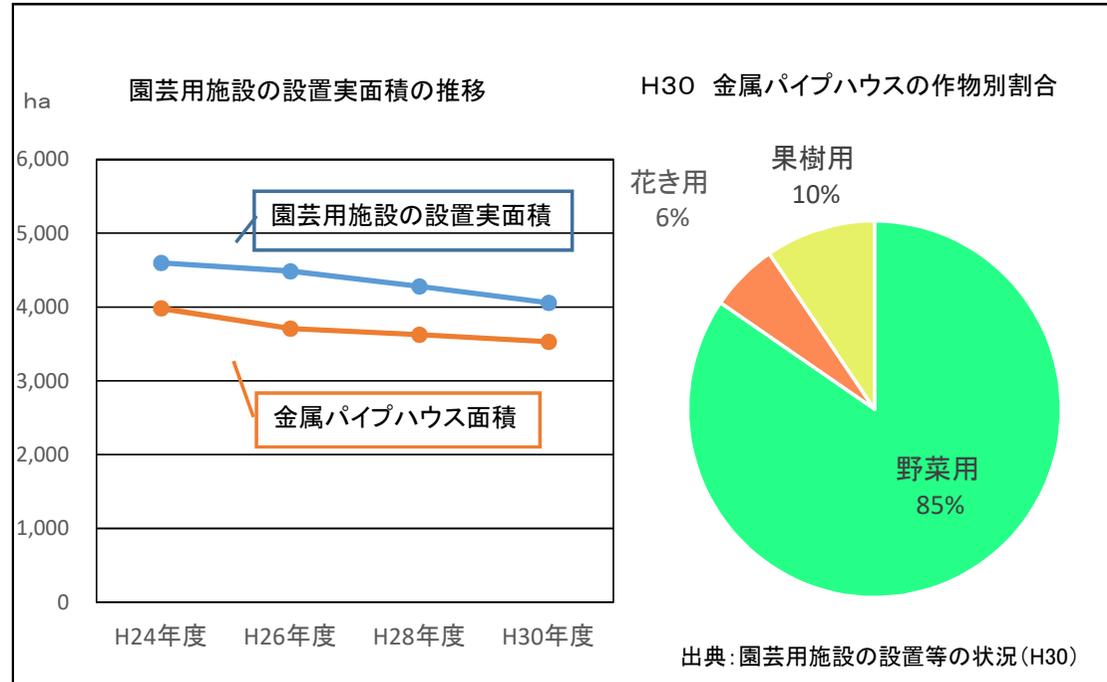
- ・中柱の追加
- ・融雪装置の設置

【対策の内容】

被害防止技術講習会等の開催、ハウス被害防止対策の資料作成・配布

ハウス補強の実施、防風ネットの設置等

園芸施設共済や収入保険の加入促進



※金属パイプハウスは、一般的な農業用パイプハウスを指す。

農業用ハウス強靱化緊急対策事業の取組概要

【熊本県八代市】

1.八代市の概要

・八代市は、トマトやいちごの産地であるため、気象災害の低減を目的に、低コスト耐候性ハウスや強度の高い農業用ハウスの普及を推進している。

・近年、気象災害が頻発しており、これまで被害の無かった時期や品目でも被害が発生している。そこで、今後長期にわたって使用するハイプハウス等への補強や非常用電源等の導入、保守管理に取り組み、施設被害の低減と長寿命化を図る。

2.取組内容、効果

【地区の概要】

- ・農業用ハウス 689ha 要対策面積 104.4ha (H28年)
- ・補強が必要なハウス面積 44.46ha

【取組内容】

・主な補強の方法：、水平ばりによる補強、非常用電源の導入等

【補強方法を選んだ理由】

- ・連棟ハウス側面からの強風に対応するため水平ばり補強を選択。
- ・台風襲来後の停電に備え、かん水や換気作業に必要な非常用電源を選択。

【効果】

- ・台風や強風に対して、ハウス強度や対応力が向上し、安定生産が可能になった。

3.今後の取組

- ・災害発生前に保守管理・災害対策を呼び掛けることのできる指導者の育成や体制の整備
- ・保守管理の徹底による農業用ハウスの耐候性維持と長寿命化

4.補強の概要

補強名：水平ばり追加



補強名：非常用電源の導入



【令和3年3月現在】

農業用ハウス強靱化緊急対策事業の取組概要

【熊本県山都町】

1.山都町の概要

- ・山都町は、夏秋トマトやイチゴの産地であるため、気象災害の低減を目的に、強度の高い農業用ハウスの普及を推進している。
- ・近年、夏期の台風や冬季の大雪など、気象災害が頻発しており、これまで被害の無かった時期でも被害が発生している。そこで、今後長期にわたって使用するハイプハウス等への補強や保守管理に取り組み、施設被害の低減と長寿命化を図る。

2.取組内容、効果

【地区の概要】

- ・農業用ハウス 15.2ha 要対策面積 15.2ha(H28年)
- ・補強が必要なハウス面積 5.6ha

【取組内容】

- ・主な補強の方法：、防風ネット設置、筋交いやX型補強等

【補強方法を選んだ理由】

- ・ハウス側面からの強風に対応するため防風ネット設置を選択。
- ・ハウス側面からの強風に加え、吹きおろしに対応するため筋交い追加等の補強を選択。

【効果】

- ・台風や強風に対して、減風圧やハウス強度向上が図られ、安定生産が可能になった。

3.今後の取組

- ・災害発生前に保守管理・災害対策を呼び掛けることのできる指導者の育成や体制の整備
- ・保守管理の徹底による農業用ハウスの耐候性維持と長寿命化

4.補強の概要

補強名：防風ネットの設置



補強名：筋交いによる補強

